

# 盂蘭盆会施餓鬼法要のご案内



拜啓 盛夏の候 ご尊家益々ご清祥の段大慶至極に存じます  
当山 左記により 例年の通り 盂蘭盆会施餓鬼法要を厳修致します  
ので万障お繰り合わせの上 ご参詣賜りますようご案内申し上げます

合掌

平成二十八年盂蘭盆会施餓鬼法要  
日時 八月十六日（火）  
午後一時より

粗飯を準備しておりますのでお召し上がり下さい

塔婆供養のお申し込みは**同封の葉書**にてお早めにお願ひ致します

尚、塔婆申込葉書 **到着順**にご供養させて頂きます



安住山 円乗寺

## 日蓮宗の塔婆供養

Q お塔婆の由来って？

A 今から約二千五百年前、お釈迦様のお墓として古代インド語で「塔」を意味するストウーパーが建てられました。お釈迦様が亡くなられた時、この塔を建てて供養したのが「お塔婆」の始まりといわれています。仏教伝来に伴ってストウーパーも五重塔などいろいろ形を変化しながら、現在のお塔婆の形になったのです。

Q お塔婆を建てることによって、どうなるのですか？

A ご先祖様へのご供養になります。それだけでなく、私たちも功德を積むことができます。

Q お塔婆は、誰が、いつ、誰のために建てるものなのですか？

A 当山では、法事のお施主さんが、故人のために、年回忌・永代経法要・お盆施餓鬼等の際に建てるものです。

Q 日蓮宗のお塔婆はどんなものですか？

A 「南無妙法蓮華経」を記したものが日蓮宗のお塔婆です。他宗のものには梵字を書いたものもあります。

Q お盆には、どういう由来があるのでしょうか？

A お盆は、お彼岸と並ぶ先祖供養の法会です。もともと、ブツダの弟子目蓮尊者が、餓鬼道に堕ちた母親の苦しみを救った由来を説いた「仏説盂蘭盆経」の経説に拠って始められました。日本では、伝わってきた仏教思想と伝統的な宗教儀礼が結びつき、現在のお盆の習慣が出来たと考えられます。

## 塔婆の功德

日蓮聖人のお言葉 祖壽五十八歳

「中興入道御消息」現代語訳 中興入道宛

七くなられた幼子のむすめ御前の十三回忌に、大きな卒塔婆を立て供養された。

その塔婆の表に南無妙法蓮華経の七字の題目（南無妙法蓮華経）を書き表せば、北風が吹けば、南の海にいる魚たちがそのお題目の風に触れて大海の苦しみから脱し、東風が吹き来ればその反対の西山の鳥や鹿がその風に身を触れて畜生道をまぬがれて、天上界に生れることができるのである。いわんや、かの卒塔婆に随喜し、手を触れ眼に見る人達の功德は計り知れない。

当日のみご利用頂けます

